

令和6年度

「市長が訪問します

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和6年9月27日（金）
午前10時～11時10分
2. 開催場所 飛騨高山森林組合
3. 参加者 NPO 法人飛騨高山わらべうたの会
リーダー、サブリーダーなど18名



【テーマ】飛騨高山わらべうたの会 リーダーサブリーダー会議

飛騨高山わらべうたの会の各事業部の活動紹介と課題等について意見交換を行った

■ひだっこランド（つどいの広場）事業部

- ・市からの補助金額をあげてもらって充実した事業が実施できている。
- ・今後も事業を周知して、より多くの人に利用して欲しい。
- ・最低賃金もあがるので是非、市の単価もあげて欲しい。

■宅食事業部

- ・ひとり親さん家庭への配食や、雪またじ相談など生活全般の相談を受けている。
- ・命の危機がある方からの相談など重い案件にも対応している。
- ・三枝地区からの通学の公共交通機関が使いにくいいため、送迎が親の負担となっているという意見がある。

■出張講座事業部

- ・イベントの企画、出張講座などを実施している。
- ・9/30に山王まち協と連携して、世代を超えた交流を企画している。
- ・学校やまち協からの講座の要望が多いが、他地区の参加を制限しているまち協もある。

■木育事業部

- ・木遊館の運営準備や、保育園・小学校での木育講座などを実施。職人と子どもとのイベントも企画している。
- ・ブックスタートのように、「ウッドスタート」で赤ちゃんに木のおもちゃをプレゼントしてはどうか。

■その他

- ・市民プールの改修は親子が喜んでいる。10月までの水遊びもありがたい。ただ、更衣室が足りない、孫を連れて行くときの水着着用などは緩和して欲しい。
- ・食べることは大切なことである。安全安心に給食が食べられるように配慮して欲しい。
- ・ファミサポは原則、市外の方の利用はお断りしているが、地域連携で独自事業として受け入れることもある。

■市長からの感想等

- ・各事業をそれぞれまとめて説明していただき、分かりやすかった。
- ・子育て分野でなく、多様な生き方・考え方があり、ニーズも多様化している。行政や民間、団体が協働で進めていくのが本来のあるべき姿ではないかと考える。
- ・色々なことがあると思うが、今日1日が終わったとき明日も頑張ろうと思えるようなまちづくりを進めていきたい。